

いい出会い 地域に根ざす 本郷法人会

# ほうじん本郷

税務ニュース

No. 481

平成30年7月号

<http://www.hongohojin.or.jp/>

## 【目次】

第7回通常総会を開催

平成29年度決算報告が承認される —— 2~3

法人会の活動 —— 4

第13回法人会全国女性フォーラム「山梨大会」  
に参加して／山梨大会に寄せて

女性部会長 飯村早苗・顧問 土屋頼子 —— 5

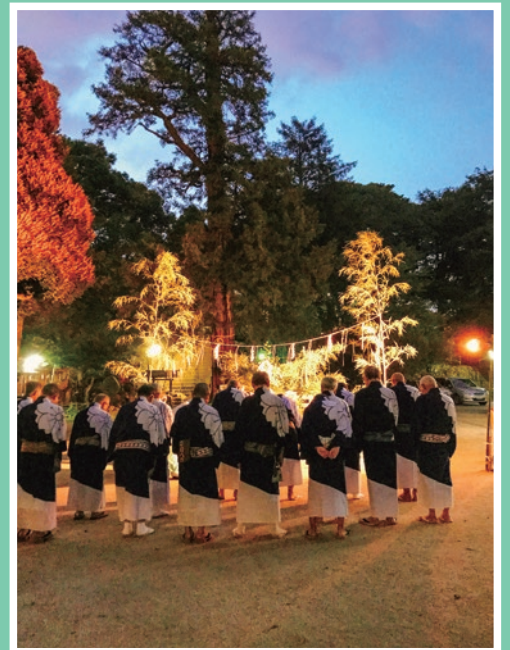
税務署だより —— 6

都税事務所だより —— 7

企業紹介

一大和自動車整備(株)PART VI —— 8~10

事務局だより —— 11



▲富士神社鎮火祭式典



▲燃え盛る炎、舞い上がる火の粉  
竹が割れる音も相まって、炊き上げられる  
松明は荘厳な雰囲気です



▲富士講の方々



▲富士塚

## 第7回通常総会を開催

### —記念講演会では「オリンピック放送の歴史、現場秘話と面白ばなし」を聴く—

第7回通常総会が6月14日(木)、午後3時30分より東京ガーデンパレス「高千穂の間」で開催された。総会は吉田総務委員長の司会で始まり、まず、物故会員並びに物故役員の方々に対して黙祷を捧げた後、定数報告がされた。続いて、会長あいさつと感謝状の贈呈式が行われ、議長に加藤高身会長を選出、議事録署名人に小安昭十氏と星野

秀明氏の2名を選出し議事に入った。第1号議案「平成29年度決算報告承認の件」を熊谷昌之財務委員長が説明した後、議長が採決をした結果反対は0名で承認可決された。

終了後、記念講演会が行なわれ、元TBSアナウンス部の松下賢次氏より「オリンピック放送の歴史、現場秘話と面白ばなし」を聴いた。



▲ 左より会員増強功労者感謝状を受ける鳥山金一郎氏・天白泰司氏・五十畑宏一氏

▲ 講演をする松下賢次氏

## 平成29年度 事業報告

平成29年4月1日から平成30年3月31日

### 活動の概況

本年は公益社団法人への移行6年目であり新公益法人制度の下、全法連が新たに制定した法人会の理念である「法人自治」及び「自己責任」の原則に基づき、活動の更なる充実に努め、事業の実施にあたっては、法人会の原点である「税」に関する活動に力点を置きながら、行政と連携した公益性の高い事業展開に努めるとともに法人会活動の活性化のため、会員増強及び会財政の健全化についても一層力を注ぎました。

その中で特筆すべき事項は次のとおりです。

① 税法等研修会として「国税及び地方税」に関する改正事項について、年2回説明会を開催いたしました。その内、1回は青年部会6月研修会として、(株)フルクラムの越田清本部長に「人材派遣業における人材採用の仕方」と題してご講演をいただきました。

② 税を考える週間行事の一環として、本郷税務連絡協議会とともに署長講演会を開催し「税務署の仕事～納税についての誠意～」と題して日頃伺うことができない貴重なお話を伺いました。

また、第2部では(株)タニタ体重科学研究所の池田義雄名誉所長に「タニタ式6つの健康習慣」と題して一無二少三多のすすめについて、ご講演をいただきました。

次に、東京小売酒販組合本富士支部並びに本郷間税会との共催で「酒税法とワインを楽しむ基礎知識」を開催し、東京上野税務署酒類指導官並びにアサヒビール(株)のワインアドバイザーの方より国内ワインの市場概況などを解説していただきました。

③ 青年部会では未来を担う管内の公立小学校6年生を対象にした租税教室を実施し、税金に関心を持ってもらうことや社会のためにどのように使われているかなど正しく理解してもらうことを目的に毎年「授業内容検討会」で協議し、新たな教材や趣向を凝らした指導方法を展開しており、根津小学校・昭和小学校・千駄木小学校では公開授業として児童だけではなく保護者の方に対しても「法人会の租税教室」を広く広報いたしました。

④ 女性部会では租税教育活動の一環として、国税庁の後援をいただいている「税に関する絵はがきコンクール」を実施し、税金が毎日の生活の中や社会でどのように使われているか、税について関心を深めて頂くとともに図工学習にも貢献するため実施しており、管内8校より384点の応募がありました。

なお、作品の中より税務署長賞・法人会会長賞・文京区長賞・文京都税務事務所賞・女性部会賞ほか優秀賞が納税表彰式に於いてご披露されたほか、入選作品が文京区区民ひろばに展示されました。

⑤ 源泉部会が中心になり、年末調整説明会のほか、労務セミナーを開催し重要改正法など身近な労務事務について説明会を開催いたしました。

また、源泉基礎講座を年3回開催し、税制改正事項や源泉所得税に関する適正な取り扱いについて研修会を行いました。

⑥ 会員増強活動に関しては、支部別加入目標を50社と定め役職員、関係機関とも一丸となって推進して参りましたが、依然と経済環境の厳しさが続き、結果46社に留まり純増には至りませんでした。

また、本年3月2日には新会員の方々を対象とした税務研修会並びに名刺交換会を開催し48名の方が参加されました。

⑦ 第2支部では税務研修会と併せて「会員の集い」を実施、32名の方々が参加され様々な情報交換の場となりました。

⑧ 定例の研修会、地域貢献事業、委員会、支部活動につきましては概ね例年のとおり実施されました。

## 貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	27,709,316	26,527,817	1,181,499
流動資産合計	27,709,316	26,527,817	1,181,499
<b>2. 固定資産</b>			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	12,580,860	12,580,860	0
社会貢献活動引当資産	0	6,500,000	-6,500,000
支部交流活動引当資産	6,500,000	0	6,500,000
周年行事引当資産	6,000,000	6,000,000	0
事務強化引当資産	2,000,000	2,000,000	0
特定資産合計	27,080,860	27,080,860	0
(2) その他固定資産			
電話加入権	115,000	115,000	0
敷金・保証金	480,400	480,400	0
その他固定資産合計	595,400	595,400	0
固定資産合計	27,676,260	27,676,260	0
資産合計	55,385,576	54,204,077	1,181,499
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
預り金	212,998	216,979	-3,981
未払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	282,998	286,979	-3,981
<b>2. 固定負債</b>			
退職給付引当金	12,580,860	12,580,860	0
固定負債合計	12,580,860	12,580,860	0
負債合計	12,863,858	12,867,839	-3,981
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 基金</b>			
基金	0	0	0
<b>2. 指定正味財産</b>			
指定正味財産合計	0	0	0
<b>3. 一般正味財産</b>			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	42,521,718	41,336,238	1,185,480
一般正味財産合計	42,521,718	41,336,238	1,185,480
(うち特定資産への充当額)	(14,500,000)	(14,500,000)	(0)
正味財産合計	42,521,718	41,336,238	1,185,480
負債及び正味財産合計	55,385,576	54,204,077	1,181,499



## 第42回わんぱく相撲文京区大会で租税教育活動を実施

青年部会長 埜 英幸

平成30年4月30日(日)、文京総合体育館で開催されました東京青年会議所文京区委員会主催による、「第42回わんぱく相撲文京区大会」におい



▲小石川法人会・本郷法人会の青年部会役員方が対応

て小石川法人会青年部会と合同で税金クイズを実施いたしました。

対象は相撲トーナメントの順番待ちをしている児童やそのご兄弟で、低学年の児童や未就学児のお子様はスタッフのほぼ解答に近いヒントをもらい、答えを書き込んでおりました。少しでも税金の使い方や大切さが伝わればと思います。



▲税務署の高梨上席にもお手伝い頂きました。(手前)

## 簿記入門、重点ポイントを理解しよう!

—全6回シリーズが開講—

地域連携講座PART1として文京学院大学との共催による「簿記入門、重点ポイントを理解しよう!」が6月5日(火)午後7時より同、生涯学習センターに於いて全6回シリーズで開講した。講師は文京学院大学・税理士の柴野宏行先生、この講座は日商簿記3級検定にも対応した講座で①重要な取引の仕訳(現金、当座預金のポイント)②商品売買、手形のポイント③試算表の作成方法④精算表の作成方法などを学ぶ講座で最終回には修了証が交付される。



▲講師を務める税理士柴野宏行先生

## 第2回源泉基礎講座「人件費をめぐる源泉徴収事務」を学ぶ

—給与等に対する源泉徴収事務など—

第2回源泉基礎講座が6月7日(木)、午後2時より本郷税務署会議室に於いて開催され、講師の源泉担当 八木調査官より資料を基に退職金に対する源泉徴収事務や個人に支払う報酬等に対する源泉徴収事務などが説明された後、演習問題と解説がされた。(法人会では様々な研修会を随時開催しております。詳しくはホームページをご覧ください。)



▲講師を務める八木調査官

## 第13回 法人会全国女性フォーラム 山梨大会に参加して 「輝こう!名峰富士のもと ~今を創る女性の力~」 女性部会長 飯村 早苗

全国女性フォーラムが、4月12日(木)に甲府市のアイメッセ山梨で開催され、全国から約1600名の女性部会員が集いました。

開会の冒頭、大月法人会女性部会コーラス部の演奏があり大会の開催を盛り上げました。このコーラス部は毎年、福祉施設の慰問などを行っているそうで、社会貢献活動の一つの形として大変参考になりました。

さて、今回の記念講演では、元NHKアナウンサーの国井雅比古氏に「小さな旅と私~人との出会いと発見~」と題して、番組の中で出会った全国の生き生きと輝いている女性たちをご紹介いただきました。

そして地域社会を支えているのは昔も今もそしてこれからも女性!と参加者にエールを送られました。

第2部大会式典では、税の啓発活動や社会貢献活動への積極的な取り組み、特に全国規模で女性部会が取り組んでいる絵はがきコンクールへの更なる取り組みの充実をはかり、法人会活動を通じて将来を支える子供たちが安心して暮らせる未来を切り拓いていこう、と大会宣言が告げられ閉会しました。

9年後、リニア中央新幹線が開通すると品川~甲府が約20分と聞き、改めて山梨が今よりはるか



▲会場の様子

に身近な場所になることを実感しつつ、全国の女性たちの元気なパワーをもらった一日でした。



▲左より岡内多恵子、川浦文字、飯村早苗、松沼智性子、山中一江、土屋頼子の各氏



▲展示された絵はがきコンクールの作品



- あいさつをする全法連 小林 栄三会長(上段左)
- 記念講演会をする元 NHK アナウンサー 国井雅比古氏(上段右)
- あいさつをする国税庁 藤井 健志次長兼長官心得

## 山梨大会に寄せて 女性部会顧問 土屋 頼子

山梨と聞けば、三澤さいさんが思い浮かびます。昭和47年2月、女性部会創立初代部会長として25年間、皆さんの先頭に立って法人会活動を熱心に支え、部会の発展に全てを捧げて来られたお人です。平素、会話の中で「私は百歳まで生きたい」と言われたとおり昨年1月白寿を迎えて天寿を全うされました。

本郷法人会女性部会が全国に先駆け設立されたのは、第三代会長 金原四郎様の絶大なご支援とご指導のお蔭と感謝しております。その後、女性部会は北海道札幌中法人会との姉妹提携、東北一円の女性部会誕生の良き指南役会となれたのは、21世紀男女平等が当たり前の社会の到来を見据えての偉大な金原会長(当時)の叡智だったと考えられます。素晴らしい歴史と伝統を誇りに女性部会活動の今後の更なる発展を祈ります。

平成31年1月7日以降

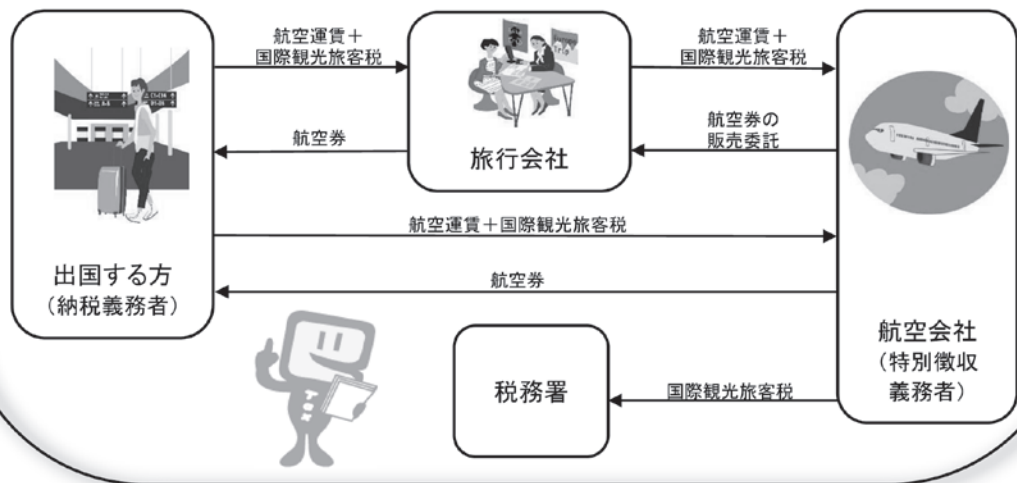


# 日本から出国する方を対象に 国際観光旅客税が導入されます

- 税率** 日本からの出国1回につき1,000円
- 納める方** 船舶又は航空機により日本から出国される方
- 支払方法** 日本から出国する際に利用する船舶会社又は航空会社にお支払いください。なお、旅行会社を経由してお支払いいただく場合もあります。

「国際観光旅客税」は、原則として、船舶会社又は航空会社(特別徴収義務者)が、チケット代金に上乗せする等の方法で、日本から出国する方(納税義務者)から「国際観光旅客税」を徴収し、これを国に納付する制度となっております。

～ 航空機を利用する場合のイメージ図 ～



## 国際観光旅客税を支払う必要がない方

「2歳未満の者」や「平成31年1月7日より前に発券された航空券により、平成31年1月7日以後に出国される方」等、一定の方については「国際観光旅客税」を支払う必要がありません。詳細につきましては、国税庁HP([www.nta.go.jp](http://www.nta.go.jp))に掲載されているQ&Aをご覧ください。



## 小規模非住宅用地の 固定資産税・都市計画税を減免します(23区内)

一画地における非住宅用地の面積が400㎡以下であるもののうち200㎡までの部分について、固定資産税・都市計画税の税額の2割を減免します(個人又は資本金・出資金の額が1億円以下の法人が所有するものに限る。)。減免を受けるためには、申請が必要です。

\*未申請の方で、小規模非住宅用地を所有していると思われる方には、8月までに減免手続きのご案内を送付する予定です。  
減免の要件を確認のうえ、申請してください。



【お問い合わせ先】土地が所在する区にある都税事務所

## 中小企業者向け省エネ促進税制～法人事業税・個人事業税の減免～

東京都では、中小企業者が行う省エネ設備等の取得を支援するため、法人事業税、個人事業税を減免しています。

詳細は、主税局HP「<東京版>環境減税について」をご覧ください。

【お問い合わせ先】

○中小企業者向け省エネ促進税制について

- ・千代田都税事務所(法人事業税班・個人事業税班) 03(3252)7141
- ・主税局課税部法人課税指導課(法人事業税班) 03(5388)2963
- ・主税局課税部課税指導課(個人事業税班) 03(5388)2969

○地球温暖化対策報告書制度・導入推奨機器について

東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京) 03(5990)5091

地方税はインターネットでラクラク申告!

eLTAX  
地方税ポータルシステム

電子申告をご利用ください!



詳しくはこちらから

eLTAX ホームページ

エルタックス

検索

<http://www.eltax.jp/>

【ご利用の手続についてのお問い合わせ】

ヘルプデスク 0570-081459 (ハイソコ)

(上記電話番号でつながらない場合 03-5500-7010)

平日 9:00~17:00(土・日、休日、年末年始を除く)

## クルマ…夢・安心 (VI)

大和自動車整備株式会社  
代表取締役 五十嵐 正樹



### あれこれ思い出放談

—とても人にやさしい会社でした—

#### 戦後まもなく、GHQの車も修理

**五十嵐 (正樹)** うちの会社は、終戦のときを創立記念日と決めました。それは、戦後、何もなくなったところからやり直そうという気持ちからだったようです。当時は働く所ありませんから、地元の有志がお金を出して大和商事という会社を作ったものの、いざこざもあったようですが、神田さんが上手くまとめてくれたおかげで、その後、会社も順調に滑り出したようです。

**五十嵐 (靖八)** 先代が引き揚げて来たのはいつでしたか。  
**五十嵐 (正樹)** 沖縄で戦死したという噂もあったそうですが、終戦の年の12月には復員してきたと聞いています。先代は学徒動員で満州に渡り、騎兵隊に所属していましたが、その後沖縄に移って通信隊に配属になって終戦を迎え一時捕虜になりますが、クルマを修理出来て英語が話せたことから、アメリカ軍少尉のお抱え運転手をしていたそうです。

そこで、アメリカ人の暮らしぶりを目のあたりにしたのでしょうね。すっかりアメリカナイズされて帰って来たそうですが、その後、占領軍 (GHQ) との交渉事にも役立ったようです。

**五十嵐 (靖八)** 私が大和自動車に入社したのは1949年 (昭和24年) ですが、戦前から先々代社長の親父と白山と一緒に暮らしていましたから、工場の様子は今も覚えています。当時はなにしろ燃料がありませんから、クルマをあまり見かけたことがありません。工場には旋盤が2台あって、ハンダ付けみたいなことをやっていました。

戦争が激しくなると、親父の実家がある新潟に疎開しました。戦争が終わって上京し、学校に通いながら親父の仕事を見ていましたが、とても大変でしたね。

一時、GHQから「大和」(やまと) という文字を使うことを禁止されたことがありました。日本海軍の戦艦大和を思い浮かべてしまうからでしょうね。そこで仕方なく、英語で「DAIWA」と書いていましたが、そのうち「大和」を使ってよいということになったのです。私の担当は営業で、毎日、必死になってお客様さん回りをしていたことがとても懐かしいですね。

[出席者] (2010年2月当時)

- 五十嵐 靖昌 (1949年入社 取締役歴任)
- 五十嵐 靖八 (1949年入社 取締役歴任)
- 佐々木 直弘 (1961年入社 整備士・技術担当・元工場長)
- 佐々木 ユリ子 (1960年入社 営業窓口担当)
- 五十嵐 正樹 (1980年入社 現・代表取締役社長)



五十嵐 靖昌

**五十嵐 (靖昌)** 私は経理の仕事に就きましたが、親父の兄弟の子供に腕の良い職人がいましたから、彼等が修理に関する技術的な基礎を創ってくれました。日本も次第に復興し、朝鮮戦争の頃から次第に忙しくなったのですが、資金繰りにはとても苦労しましたね。吐血したこともあったくらいです。

GHQのジープなんかを修理したこともあります。修理代金はお金ではなく、ガムやアメ、缶詰のときもありました。なにしろ、何事もGHQのやる通りにしなければなりませんでしたからね。

**五十嵐 (靖八)** 朝鮮戦争の頃までは乗用車の整備は珍しく、トラックが多かったのですが、まだ物騒な時代でしたね。トラックを道に停めておくと、翌朝にタイヤがなくなっていることがよくありましたよ。

後で知ったのですが、かの有名な作家の吉川英治さんの木炭車もうちの工場にあったそうです。ガソリン車になってからも、寒いときはなかなかエンジンがかからないんです。そんなときは危険を承知で、オイルを温めたりしたものです。ジャッキでクルマを持ち上げても地盤が軟らかいのでジャッキが土に潜ってしまい、灰をまいて固めるのですが、なかなか上手くいきませんでしたね。

**五十嵐 (靖昌)** そういえば、たしか新日本観光とかいった会社のバスがうちの工場に来ていました。今でいえば、はとバスのようなものだったのではないのでしょうか。

#### 大企業のクルマが工場にいっぱい



佐々木 ユリ子

**佐々木 (ユリ子)** 私が高校を出て山形県の遊佐町から上京して入社したのは、1960年 (昭和35年) のことです。当時、私の叔母は東大病院で看護婦をやっていたのですが、大和自動車の社員だった人と知り合いだったことから、叔母を通して紹介されのがきっかけでした。当時、このあたりには高いビルはなく、平屋の家が並んでいました。今の白山通りのセンターライ







◎大和ビルディング建設前の社屋  
(昭和40年頃)



◎写真左から、現社長と五十嵐 靖治、  
中川 茂、山本 和雄、山口 岩男の各氏



◎指ヶ谷町(白山下)から白山上に向  
かう巢鴨行の都電(昭和42年頃)

ンまでは住宅が並び、工場はその裏通りにあって、屋根はスレートの平屋で3棟並んでいたのを覚えています。

**五十嵐(靖八)** もうその頃になると、会社もだいぶ大きくなっていましたからね。大企業がうちのお得意さんでしたが、やはりそれは、後に二代目社長になる兄と叔父さんたちの努力によるものです。

**佐々木(ユリ子)** 私は入社して修理の受付をやっていますが、当時は電話の交換台が2台もありましたし、大きなすごい会社がお客さんでした。海上保安庁、東大、東京国立博物館、日立製作所の本社、レナウン、エーザイといった錚々たる会社のクルマが工場に並ぶようになっていましたね。

**佐々木(直弘)** 私が入社したのは1961年(昭和36年)でした。最初は大和自動車の下請けの板金加工会社に入り、その紹介で大和自動車に整備工として入社しました。当時は都内では広い工場と新鋭の設備を持っていましたから、大きな会社はうちの工場でクルマを修理したものです。クルマをお客さんの会社まで引き取りに行くということもよくありました。

車種も当時は国産車が多く、その後、外国車が増えていきましたが、とにかく部品がありませんから、分からないなりに自分たちで作ってしまいましたね。どちらかといえば、クルマを完璧に直すというより、クルマが動くようになればよいといったスタイルの修理でしたよ。

いちばん苦労したのは、白山通りで地下鉄の工事が始まった頃です。工事現場のダンプカーを修理したのですが、車体が重いからいくら力があってもタイヤがなかなか外れません。危険も伴いますから、とても大変でしたね。

**五十嵐(正樹)** 体に火が付いてドラム缶に飛び込んだなんていう話も聞いたことがあります。

**佐々木(直弘)** 私共のときには、大きな事故はありませんでした。戦後まもなくのことでしょうね。

**五十嵐(靖八)** うちの会社も車の普及と共に1964年(昭和39年)頃には100人程の規模になりました。

**五十嵐(靖昌)** いや、会社は大きくなったのですが、資金繰りには苦労しましたよ。給料なんか1回では払えないこともありました。先々代の社長は社員にはしっかり払うのですが、役員は半分といったことがしばしばありました。忙しいけど儲けがなかったというのが実情でした。でも先々代の社長は、働きたいうちの工場に来たら全部雇えという人でしたから、今の経営感覚からしたらとても考えられないやさしい人でしたよ。

**佐々木(直弘)** 工場ではいちばん偉いのは工場長で、その下に職長が5、6人いました。今の整備課長みたいな役



佐々木 直弘

職です。一種の班のようになっていて、職長の下には組長がいて、その下に10人程の工員がいました。そして、そのひとつの班ごとに何台かのクルマを担当し、修理していました。1台のクルマは2、3人で修理していましたが、クルマはいつも10台以上は工場に入っていましたよ。

しかも、当時は、エンジンを3日程かけてオーバーホールしていました。今からみれば想像つきませんが、それこそ徹夜しないと間に合わない状態でしたよ。部品を交換するだけなら作業も楽ですが、当時は肉体労働が多かったんです。

でもその後、自動車整備の技術は急速に進歩し、電気式の整備機械やコンピュータが入ることで、昔に比べて楽になりましたし、クルマ自体が強固になりましたから、壊れることも少なくなっていました。

**五十嵐(靖八)** 私は営業の担当でしたが、人数が多いので仕事を与えるのが大変で、「今日は請求書、明日は集金」と社員に指示していました。首切りは一切しませんでしたし、崖上で昼寝をしても許されるような余裕もありました。忙しいけどみんなで助け合っているという雰囲気がありましたね。

### 工場にはたくさんの人たちが出入り

**佐々木(ユリ子)** 仕事のことはあまり覚えていませんが、いちばん思い出に残っているのが、会社で飼っていた犬のことです。

**五十嵐(靖八)** たしか、野良犬だったね。

**佐々木(ユリ子)** とてもかわいかったんですが、あまりにも鳴き声がうるさいというので保健所に入れられたんです。もう戻って来ないと思ったこともありましたが、ある日、また会社に連れ戻されたんです。もう涙が出て止まりませんでしたよ。

**五十嵐(靖八)** そういえば、有名人のクルマもあったよね。

**佐々木(ユリ子)** ちょうど、私たちが結婚した頃ですが、昭和の歌姫といわれた美空ひばりさんのクルマもうちの工場に整備していました。俳優の千葉真一さん、落語家の桂小金治さんもお客さんでしたね。

**五十嵐(靖八)** そう、ひばりさんのクルマを整備していた人は気に入られ、運転手として引っ張られていったということもあったね。

**五十嵐(靖昌)** 先々代の社長というのは、社員にはとてもやさしかったのですが、よく役員を叱っていました。自分の給料はそこそこで、部長クラスの金額しかもらわずに、社員のことだけを考えていましたよ。



五十嵐 正樹





◎都電やクルマが往来する白山通り  
(昭和42年頃)



◎会社を見守ったお稲荷さん



◎社員食堂での歓談風景  
(昭和50年頃)



五十嵐 靖八

**五十嵐 (靖八)** 集団就職で地方から出て来た人も多くいましたね。秋田や岩手といった東北の人や沖縄からやって来た人もいましたが、なかなか長続きせず、途中で辞めていく人も多かったですね。

**佐々木 (直弘)** 人の入れ替わりが多かったことには理由がありました。ある程度整備の技術を身に付けると、待遇が良い工場に移ったりしたからです。独立して自分で修理を始めることも出来ましたからね。

沖縄の人なんかは、寒さに弱いのか、どうしても東京の気候になじめず帰ってしまう人がいました。なにしろ中学を卒業して上京するのですから、右も左も分からないといった様子で戸惑う人もいましたが、辛抱強いのは東北の人でしたね。

**五十嵐 (靖八)** 察もあつたし、先々代の社長は社員の面倒を良くみました。集団就職で入社した人は夜学に通わせていましたからね。学費も出していたようです。

われわれは5時まで仕事をしていますが、4時半頃になると、学校に行く子は早く仕事を終えてしまうんです。ところが、その中には、学校に行かずに、銀座なんかで遊んで知らぬ顔して帰ってくる子もいましたよ。でも、会社はとても寛大で、怒ったりしませんでしたよ。

### 人にやさしい会社を目指して

**五十嵐 (靖八)** 先々代は自分の会社以上に業界を育てるという社会的な活動を一生懸命やっていたよな。

**五十嵐 (靖昌)** 文京区の商工協会の会長をやっていたときには、うちの会社を事務所として提供していましたからね。

**五十嵐 (靖八)** お稲荷さんを信仰していましたから、工場の敷地には小さな祠がありましたね。社員は赤い幟を奉納させられ、毎月28日になるとお参りした後みんなで食堂に集まってお酒を飲んでいました。しかも、社員だけではなく、商工協会の人も参加して、とても賑やかだったことを覚えています。

今もお稲荷さんは、現社長室にお祀りされていて、毎月第3金曜日には先々代の思いを継いで、お酒を飲んでますね。

**五十嵐 (靖昌)** 家族連れの株主総会を熱海でやったこともありました。働いてくれる人や仲間、家族をととても大切にしたいんです。

**五十嵐 (靖八)** 当時、300円、500円が入っている預金通帳を誕生日にもらうことがありました。来年になるとどれほど増えているか、無駄遣いしているかどうか分かる訳です。これも、社員を大事するためだったんですね。

**佐々木 (直弘)** 生産奨励金もありました。毎月の目標があつてそれを達成したときですが、とてもうれしかったことを思い出します。私どもが結婚したときは、他にも社内結婚が2組もありました。とても働きやすく温かい会社だったんです。

**佐々木 (ユリ子)** 正月にお年玉をもらったこともありましたよ。

**佐々木 (直弘)** 社員の持ち株制度みたいなものもあつて、定期昇給のときに昇給分を株でもらったこともあります。

**五十嵐 (靖昌)** 会社はよく社員の面倒をみましたよ。

**佐々木 (ユリ子)** 会社で辛い思いをしたことはなかったですね。とても温かで家庭的な会社でした。

**五十嵐 (靖八)** 自動車整備の業界もどんどん変わっていきました。クルマ自体が丈夫になり部品交換が簡単に出来たり、コンピュータで制御出来るようになったからです。先代社長にははっきりとした先見の明があつたのです。自動車整備の将来を見越して、先々代が遺してくれた土地を有効に活用するため、マンションを建てて経営の基盤をしっかり創りましたからね。

今会社があるのも、先代、先々代のおかげです。私自身、一度も会社を辞めようと思ったことはありませんでしたし、定年まで楽しく働けたことはとても幸せでしたよ。

**五十嵐 (靖昌)** これからも、先代、先々代が持っていた先見の明を見習って、会社を継承して行って欲しいと思っていますね。

**五十嵐 (正樹)** うちの会社は自動車業界の動きに左右され、技術的な進歩で整備の仕事は減少してきましたから飛躍的な成長は望めませんが、クルマがあるかぎり整備は必要です。良いお客さんをこれからも大切にすることはもちろん、オールドカーといった趣味の世界での需要もあります。ある意味で、ニッチというかボランティア的な仕事も開拓しながら、経営的には不動産管理と2本柱でこれからもやっていきたいと思っています。

ヴェルクヤマトの竣工を期に、気持ちを新たにしているところです。本日はありがとうございました。



◎久しぶりに懐かしい顔が揃ったOB会 (平成22年5月)

# 事務局だより

## 平成30年度会員増強大会及び社会貢献事業チャリティー寄席

と き：平成30年9月4日（火）開場：17：00

開 演：17：45【全席自由】

と ころ：上野銘本演芸場（台東区上野2-7-12 ☎3834-5906）

第1部 会員増強大会 17：30～17：45

第2部 チャリティー寄席 17：45～21：00

参加費：会員2,500円

一般3,000円

上記の金額には（入場料・お弁当・お茶込）です。

お申込み方法：法人会ホームページから申込書を

ダウンロードしてお申込みください。

<http://www.hongohojin.or.jp/>



### 【表紙写真について】

駒込富士神社の行事（文京区本駒込5-7-20）8月28日、29日鎮火祭（山じまい）の行事が行われる。俗に火祭りともいう。夜は境内広場中央に薪を積み重ね篝火として点火し、また近くの崇敬者及び商店街の家で篝火台に点火して壮観を極める。これは御祭神が無戸室（うつむろ）の猛火の中で皇子を安産した故事に因むものである。防火、安産等の神符も授与している。この火祭

りは都内では珍しい行事の1つである。

【撮影及び表紙説明】

㈲トイー企画（回覧板・名簿の企画制作）

本駒込5-3-5-201

代表取締役 鶴野真理子

### 我社の一言 PR

- ☞ 会社名：株式会社 東芸
- ☞ 代表者：葛城 勉
- ☞ 所在地：東京都文京区本駒込 6-3-7
- ☞ T E L : 03-3944-2690
- ☞ F A X : 03-3944-2754

救急車を呼ぶほどではないけれど…精神的理由で治療が必要だけれど…# 7119 の救急相談センターではこのような場合に民間救急会社を紹介します。当社は文京区で唯一民間救急として営業している会社です。介助の必要な通院・入退院・転院などの移送を業としています。

### 7月号 編集後記

暑中お見舞い申し上げます。3月決算の法人では、総会が終わり申告も終了して一息、と言うところではないでしょうか。ところで、わが国では24の国税と24の地方税が社会の仕組みを支えており、当広報誌でもその使われ方を紹介して参りました。秋に表彰される「税についての作文」や「税に関する絵はがきコンクール」を拝見すると、税の在り方についてしっかりと理解されており、頼もしい限りです。時に、その使われ方に納得できない報道を目にしますが、いつでも気持ちよく納税できる世の中にしてゆくの私たちの務めであると思います。（星野 記）



# e-Tax

イータックス

国税庁 e-Tax キャラクター  
イータ君

受付は平日24時まで受付可能！便利な国税電子申告・納税システム

## 東法連 平成29年度 税に関する絵はがきコンクール

後援：国税庁



東法連女連協会会長賞  
練馬区・小学5年生の作品(練馬西法人会)



東京都知事賞・全法連女連協会会長賞  
世田谷区・小学5年生の作品(北沢法人会)



優秀賞  
新宿区・小学6年生の作品(新宿法人会)



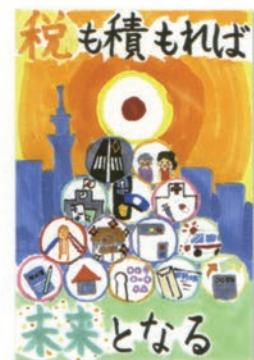
優秀賞  
台東区・小学5年生の作品(浅草法人会)



優秀賞  
墨田区・小学6年生の作品(向島法人会)



優秀賞  
世田谷区・小学5年生の作品(玉川法人会)



優秀賞  
葛飾区・小学6年生の作品(葛飾法人会)

### 受賞作品



東京国税局 税務署

法人会

東京法人会連合会 作成